

Asia-ARVO 2015

Morning Seminar 1

New Technology for DRY EYE diagnosis

日時 2015年2月17日(火) 7:50~8:50

会場 Room 2 : 501 (パシフィコ横浜 5F)

座長



坪田 一男 先生
慶應義塾大学医学部
眼科学教室 教授



木下 茂 先生
京都府立医科大学
眼科学教室 教授

近年日本国内では、新しいテクノロジーと新しい治療薬の登場により、ドライアイ診断に新たな動きがおこっている。

一つは、ドライアイ患者の視機能低下を、実用視力という新たな方法を用いて、他覚的に評価できるようになったことである。

もう一つは、ドライアイの治療が、眼表面の層別治療 (TFOT) で行われるようになってきていることである。近年、涙液・眼表面への作用機序が異なる新たな数種類の点眼薬の登場によって、TFOT が大きく注目されている。

本セミナーでは2名のドライアイスペシャリストから、日本の新しいテクノロジーを使った診断方法を紹介して頂き、今後のドライアイ患者のQOV向上についてディスカッションしたい。

演者 1



Functional visual acuity technology for dry eye

海道 美奈子 先生
慶應義塾大学医学部 眼科学教室 講師

演者 2



Tear film oriented diagnosis (TFOD) for dry eye

横井 則彦 先生
京都府立医科大学 眼科学教室 准教授

共催

Asia-ARVO 2015



興和株式会社